

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	千歳町	安全安心のまちづくり ①自然災害からの安全対策について	災害復旧に係る風倒木処理については、今年度新設された「災害防止森林整備事業」を活用して防災力の強化に努めることとし、市内3地区(千歳町千歳横井(江島里区)、千歳町千歳蔵谷(中区)、保津町保津山)について要望しています。今後、府において現地調査、専門家を交えた意見聴取会が開催され、8月中には事業決定についての結果が通知される予定です。 毘沙門地内の災害箇所については、すでに「亀岡市里山再生整備事業補助金」の交付を決定しています。 治山ダム新設については、今後も引き続き京都府に要望していきます。あわせて、「森林環境税」の導入が前倒しされており、これについても検討したいと考えています。 七谷川林道の復旧支援については、繰越で対応しています「令和元年度林道災害復旧工事」において林道七谷線の3ヶ所について災害復旧工事が完成しています。なお、林道の日常点検を密に行いながら災害レベルの豪雨が発生した場合、維持管理主体である七谷林道組合と連携し、災害対応等林道の保全に努めたいと考えています。	産業観光部長	①実施 ④要望	京都府発注による災害防止森林整備事業の事業説明会について、千歳町自治会長、区長、地権者参集のもと10月15日及び10月30日に実施しております。又治山ダム設置につきましては、京都府に引き続き要望していきたいと考えます。
2	千歳町	安全安心のまちづくり ①自然災害からの安全対策について	中谷川の安全対策については、砂防ダム下流から高杉橋までの約230mの間に、従来から要望や府民協働型整備事業でも要望をいただいております。府において平成29年度から測量及び概略設計など事業化に向け準備されています。今年度、地元への事業概略説明を行い、了解がいただければ事業化へ向け詳細設計を行い、その後、用地買収、工事着手と事業推進を図られると聞いています。 北谷川の安全対策については、府において平成23年度に課題解決に向けた調査検討が行われ、流末処理は小口地区の圃場整備で整備された排水路を経て、平の沢池へ流下させることで千歳町・馬路町自治会の了解をいただいております。市道より下流は市、上流は砂防事業で府が対応することとなります。府が中谷川を優先的に対応されており、北谷川の具体的な事業化は聞いておりません。市としては、今後も事業化に向けて府に強く要望していきたいと考えています。	まちづくり推進部長	②実施予定 ④要望	こん談会での回答のとおりです。
3	千歳町	安全安心のまちづくり ②町内の交通安全対策について	江島里区内の交通安全対策については、昨年度、「府民協働型インフラ保全事業」で要望いただき、スクールバス停留所付近にガードパイプ、スピード抑制標識が新設されました。今後も地元から提案をいただき、市も一緒に府に要望していきたいと考えています。 出雲大神宮前の交通安全対策については、今年度、カーブのカラー舗装、外側線について「府民協働型インフラ保全事業」に応募されており、府において審査されています。実施されるよう府に働きかけていきたいと考えています。	まちづくり推進部長	①実施	提案いただいた交通安全対策の内、区画線の塗り替え、視線誘導線の設置が一部採択され、京都府において施工済です。

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
4	千歳町	安全安心のまちづくり ②町内の交通安全対策について	制限速度の引き下げについては、公安委員会において道路環境や通行車両の実勢速度等を踏まえ検討、決定されており、速度制限のための狭窄措置等の物理的対策が取られないと引き下げは困難と聞いています。 追い越し禁止区域の指定については、次回の「府民協働型インフラ保全事業」において地元から要望を提出いただければ、市としても実施されるよう公安委員会や府に働きかけていきたいと考えています。 通行車両への交通安全対策については、速度超過の取締り等、亀岡警察署交通課に対し、定期的な取締りの要請を必要に応じてしていきたいと考えています。 今後も、セーフコミュニティ認証都市として、関係機関との連携の中、運転者に正しい交通ルールやマナーを啓発活動等を通して周知するとともに、交通事故を未然に防ぐための対策を行い、安全・安心なまちづくりに努めてまいります。 本市では、交通事故ゼロを目指して、市民参加型の『かめおか「セーフティドライブ」プロジェクト』を実施しています。安全運転の規範となる市民ボランティアを募集し、マグネットのステッカーを車に張って安全意識の啓発をしていただいています。千歳町の皆さんもご協力をお願いします。	総務部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
5	千歳町	まほろばとしてのまちづくり 「丹波ニュー風土記の里整備構想」の推進 (国分寺史跡公園、車塚古墳整備、丹波七福神道整備等について)	本市は、大都市圏に隣接しながら、豊かな自然や観光資源、文化財などにも恵まれたトカイナカであり、「湯の花温泉」、「保津川下り」、「嵯峨野観光鉄道」と「サンガスタジアム by kyocera」と言った三大観光プラスワンを核に、亀岡市観光協会や森の京都DMOなどと連携しながら、観光入込客500万人を目指し、観光振興による交流人口の拡大に取り組んでいきたいと考えています。 川東地域には、七谷川の千本桜や水鳥の道のオニバスのほか、愛宕山や牛松山などの山並みを背景に一面に広がる田園風景など、日本の原風景ともいえる景観が広がっています。また、丹波七福神めぐりや出雲大神宮、丹波国分寺跡や車塚古墳など、多くの歴史文化を有しており、市内外から多くの観光客が訪れています。 そのような中、平成30年3月29日には「まほろば・亀岡かわわがし〜古代丹波の原風景〜」が京都府景観資産登録されました。地域の皆様には、これら数多くの歴史的文化財遺産と豊かな地域資源の保存継承にご尽力をいただいております、ありがとうございます。 市としても、これら魅力ある地域をPRするため、昨年3月に発行した亀岡市公式観光パンフレット「Leaf 特別編集 京都亀岡」において特集記事を掲載するとともに、亀岡市観光協会が運営するレンタサイクルの利用者に、当地域に特化した「ウォーキング・サイクリングマップ」を配布しています。 また、地区内にある「観光案内駒札」も順次、増設や更新等を行っており、今後も限られた予算の範囲内ではありますが、優先順位を決めながら取り組んでいきたいと考えています。	産業観光部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
6	千歳町	まほろばとしてのまちづくり 「丹波ニュー風土記の里整備構想」の推進 (国分寺史跡公園、車塚古墳整備、丹波七福神道整備等について)	七福神めぐりの整備計画に係るルートについては、千歳町安全・安心のまちづくり推進会議において、効果性・実現性の検討がなされ、市道だけでなく里道や民有地も含めたルートの見直しが検討されてきたことは承知しています。 今後、段階的に実現可能な手法やルート、例えば、現在工事が進んでいる亀岡園部線千歳北工区が完成することで、現道の自動車交通量の減少も見込め、散策される歩行者・自転車利用者の安全度が増すことも考えられることから、当該道路や既存道路等の有効活用も検討に入れる中で、地元と十分調整を図りながら検討を進めたいと考えています。 その中で、まずは七福神ルートとしても成り得る市道美濃田平野線外1線の道路改良事業を平成26年度から取り組み、平成28年度から事業着手したところですが、当該事業に係る国からの補助金が厳しく、昨年に引き続き今年度も事業を見送りせざるを得ない状況ではありますが、引き続き早期事業完了に向けて補助金確保に努めたいと考えています。	まちづくり推進部 事業担当部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
7	千歳町	まほろばとしてのまちづくり 「丹波ニュー風土記の里整備構想」の推進 (国分寺史跡公園、車塚古墳整備、丹波七福神道整備等について)	国分寺跡の史跡整備については、丹波ニュー風土記の里整備構想において地域の皆さまのご理解、ご協力のもと取組を進めてきました。今年度から10年間かけて経蔵跡整備や鐘楼跡整備、僧房跡整備等を進めていく計画としています。提案のありました仮設駐車場等の整備については、それらと整合性を図りながら、地域の皆様のご意見を伺いながら、対応は可能と考えていますので、改めてご相談したいと考えています。 車塚古墳の環境整備については、二重の堀が確認されているところで、一重の部分については、これまでに地元のご協力を得て整備をしています。今後10年間は、国分寺跡の整備を優先的に進めたいと考えており、並行しての整備は難しいと考えています。	教育部長	②実施予定	「丹波ニュー風土記の里整備構想」として、まずは国分寺跡の史跡整備について、今年度から10年間かけて経蔵跡整備や鐘楼跡整備、僧房跡整備等を進めていく計画をしています。
8	千歳町	まほろばとしてのまちづくり 「丹波ニュー風土記の里整備構想」の推進 (国分寺史跡公園、車塚古墳整備、丹波七福神道整備等について)	古墳公園の話は、市長に就任して以来、施策として上がってきたことはありませんでした。丹波ニュー風土記の里構想が上田正昭先生を中心に作られたことは承知していますが、国分寺跡の整備を前提としての構想であり、現在の整備計画に到っているところです。 地権がどうなっているか、どこまで計画がなされていたのか、こちらで調べます。こん談会の中でも今回初めて出ましたので、当時どこまで実効性のある形で進めようとしていたのか、車塚古墳を文化財にする際の経過等を確認します。	市長 (教育部)	③検討	「丹波ニュー風土記の里整備構想」のなかで千歳車塚古墳公園の計画があったことを確認しました。現在のところ、計画を見直し10年間かけて国分寺跡の整備を進める予定です。そのなかで、千歳車塚古墳公園の位置付けを今後検討していきます。

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
9	千歳町	公衆街路灯の新設、移設、と市道の整備及び防護壁補修について 1. 公衆街路灯の新設	公衆街路灯の新設については、毎年多くの自治会から要望があり、小中学校の通学路を最優先に順次設置対応しています。昨年度は、市全体で30基設置し、そのうち千歳町内に4基設置しました。現在、要望の取りまとめをしており、優先順位をつけて設置していきたいと考えています。 公衆街路灯の撤去及び移設については、設置後の維持管理を自治会にお願いしていることから、自治会で対応をお願いします。	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	今年度については、出雲区内の1基について設置を行いました。
10	千歳町	公衆街路灯の新設、移設、と市道の整備及び防護壁補修について 2. 市道整備等について 1 七谷川野外活動センターより蔵宝寺間の整備 2 出雲区内市道北所1号線の整備、修復舗装 4 江島里区内市道防護壁の補修	道路整備については、数多くの要望をいただいています。整備や修繕工事については、通学路を主体に、車両や歩行者の通行に危険な箇所や緊急度及び他事業との連携、また、自治会からの優先順位の意向を踏まえながら、順次実施しているところです。要望箇所の整備や修繕については、検討していきたいと考えています。 七谷川野外活動センターより蔵宝寺間の市道については、宅地が隣接しており、現道拡幅の整備は厳しいと考えています。市道以外の補完については、認定外道路であるため、「認定外道路整備事業」の活用による整備検討をお願いしたいと考えています。 出雲区内市道北所1号線については、要望はお聞かしております。現地調査をし、計画図面を作成しています。先ほど、再舗装だけでものご意見も頂きましたので、それも踏まえながら計画を固め、地元関係者との協議を進めたいと考えています。 江島里区内の目隠しフェンスについては、早急に修繕を実施したいと考えています。	まちづくり推進部 事業担当部長	1 ③検討 2 ③検討 4 ①実施	1 こん談会での回答のとおりです。 2 こん談会での回答のとおりです。 4 目隠しフェンスの修繕は、11月に完了しました。
11	千歳町	公衆街路灯の新設、移設、と市道の整備及び防護壁補修について 2. 市道整備等について 3 市道美濃田平野線の整備促進	市道美濃田平野線については、小口方面の120mが完成しています。国の補助金を活用していますが、財源確保が厳しい状況で、今年度も工事ができません。 当該計画路線については、砂防河川中谷川が横断しています。その計画調整や一部箇所について未登記が存在しており、それについて協議調整を進め、築造工事が実施できる受け皿整備をしていきたいと考えています。早期事業が図れるよう国、府に必要性を十分に訴えて財源確保に努めたいと考えています。 予算については、美濃田平野線に特化して予算を要望しており、優先的に違う路線にふるといったことはしていません。現在、途中で止まっていますが、過去に圃場整備で上げていただいた農道部分について、まずは優先的にそこまでを完結するための予算確保をしたいと考えており、国、府に強く予算確保について求めたいと考えています。 また、砂防河川が未登記になっており、用地買収が完了していません。境界確定ができていないので、予算確保とは関係なく、今年度に京都府と各地権者、関係者と現場立会いや過去の資料等を精査するなかで、用地買収や工事ができる状況を整えていきたいと考えています。	まちづくり推進部 事業担当部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
12	千歳町	谷間等よりの出水防止、河川改修について 1. 出水対策について	出水対策については、流路工や山腹工、治山ダムといった治山事業について、今後とも京都府へ要望を行いたいと考えています。あわせて、国や新しい事業等も活用できるよう取り組みたいと考えています。 昨年度の災害を受け、市内で要望が62件ありました。京都府も予算を大幅に拡大して取り組んでいただいています。現時点で10か所が着手され、まだまだ残っているところがあり、なかなか順番がまわってくるのが難しい部分もありますが、できるだけ今お聞かせいただいた地域の実情等もお伝えし、引き続いて強く要望していきたいと考えています。あわせて、「中山間地域等直接支払制度」が活用できるかについても検討したいと考えています。	産業観光部長	④要望	こん談会での回答のとおりです。
13	千歳町	谷間等よりの出水防止、河川改修について 1. 出水対策について	中谷川の出水対策については、出水対策に係る排水路の整備改善要望を各自治会から数多くいただいています。抜本的な対応については、時間や費用も必要となります。出水被害を限りなく軽減させるという暫定な対応となりますが、地域の皆さんの実情等を現地でお聞きする中で、出水時の対策について検討していきたいと考えています。	まちづくり推進部 事業担当部長	②実施予定	こん談会後、令和元年10月29日に地元区役員と立会をお世話になり、地域の皆さんの実情等をお聞きさせていただきました。今後、出水被害を限りなく軽減させる対策について実施に向け取り組んでいきたいと考えています。
14	千歳町	谷間等よりの出水防止、河川改修について 2. 堆積している土砂について(毘沙門区)	堆積している土砂(毘沙門区)については、災害により南谷川に堆積していた土砂の浚渫が先月完了したところです。府道バイパスの前後にある柵についても、堆積していることを確認していますので、可能な限り早期に土砂浚渫をしたいと考えています。	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	府道の前後にある柵土砂の浚渫について、令和元年12月に撤去実施しています。